

横川朋弥 略歴

2011年に東京学芸大学教育学部音楽専攻を卒業。作曲をエレーナ・メンドーザ、クラウス・ラング、山内雅弘、金田潮児、塙崎美幸の各氏に師事。

2013年より欧州に拠点を移し、グラーツ芸術大学学士課程を最優秀成績で修了。2019年、ベルリン芸術大学修士課程を優秀成績で修了した。

Künstlerhof Schreyahn、Styria Artist-in-Residenceなどのレジデンスに参加。ドイツ音楽評議会（Deutscher Musikrat）、ドイツ学術交流会（DAAD）、Ad Infinitum Foundationほかの助成を受ける。作品はVerlag Neue Musikより出版されている。

2018年には、室内オペラ《金色夜叉》がグラーツ歌劇場で上演され、日本の音楽的伝統と西洋の語法を結び付けた独自の作風が注目を集めた。

国際作曲コンクール Città di Udine ソロ楽器部門優勝（2023）、国際作曲コンクール Torre della Guarda 室内楽部門優勝（2018）、Claussen-Simon 作曲賞ファイナリスト（2023）。

日本の伝統楽器と現代音楽の融合を目指した演奏会を開催する公益法人「双月舎」を主宰。